

平成24年度

全町自治会長会議



町民の声を広く行政に反映させることを目的とした平成24年度全町自治会長会議が5月28日、地域交流センターにおいて開催されました。

会議には、各自治会代表12名、町からは町長、副町長、教育長、各課長等が出席して、意見交換等が実施されましたので、その概要をお知らせします。

なお、各自治会の要望事項および町からの回答につきましては、すでに各自治会宛に文書で回答しております。

【町政執行に対する基本的姿勢（要旨）】 <町長>

現在、地方分権の流れがますます加速しておりますが、本町は住民に身近な基礎自治体として自らの責任と判断により地域の実情にあったまちづくりを推進することが必要であります。町長として与えられた使命と責任の重さをあらためて認識し、「郷土愛に燃え、明るく豊かなまちづくり」を町政運営の基本理念とし、町民憲章に掲げている「町民の五つの誓い」の理想実現のため、政策の具現化に全精力を傾注するとともに、「愛町心の持てる」「つながる」「育てる」「皆さんとともに考える」という四つのまちづくりに取り組み、地方分権の時代に柔軟に対応しながら、本町が誇りに持つふるさととして、未来に向かって永続的に発展できるように全力を尽くす考えであります。

そのために、地域経営の指針であります雄武町総合計画に基

づいて、長期的な展望のもと、財源の裏付けを伴った計画行政を効果的・効率的に推進し、産業の振興、医療・福祉の充実、子育て・教育の支援、生活基盤の整備などさまざまな分野の向上に努めてまいります。

社会の急速な変革に伴い、地方を取り巻く環境は激しく変化しておりますが、理想の実現のために、今なすべきことは、これまでのしがらみや前例、固定観念を捨て、町民の皆さんが求めている価値観を的確に把握することに果敢に挑戦し、勇気を持って行動することが、大切であると考えております。

郷土愛に燃えて、町民、民間、行政が一体となった町政運営の推進に向け、職員ともども知恵を出し合い、積極的、かつ力強く行動してまいりますので、皆さまのご支援・ご協力、そして時には叱咤激励を賜りますようお願い申し上げます。



【平成24年度の新規または特徴的な事業】

本年度の新規または特徴的な事業の概略について副町長から説明が行われました。

◎第5期総合計画後期基本計画策定事業（新規）

事業費 3000千円

（内訳）

一般財源 3000千円

▼事業内容

本町の行政運営上の最上位計画となる総合計画については、平成20年度から10年間の第5期計画が進行中であり、前期基本計画が本年度で終了するため、平成25年度から始まる後期基本計画の策定に要するものであります。

◎子ども医療費助成事業（拡充）

事業費 15770千円

（内訳）

道支出金 3285千円

雑収入 10千円

一般財源 12475千円

▼事業内容

これまで小学生修了までの児童の入院費と就学前の子どもの通院費を助成してきましたが、本年度から高等学校卒業までの子どもの医療費を助成（初診時一部負担金を除く）することにより少子化対策および子育て家庭への支援とするものであります。

◎浄化槽整備事業（新規）

事業費 46000千円

（内訳）

国支出金 4375千円

一般財源 41625千円

▼事業内容

公共下水道の認可区域以外の区域の住宅で、合併処理浄化槽の整備費用と維持管理費用の一部を助成するものであります。

◎商業活性化推進事業（拡充）

事業費 1800千円

（内訳）

一般財源 1800千円

▼事業内容

地元産業を活性化するため、プレミアム商品券を前年度より5割増で発行するための補助であります。

◎買物環境向上事業（新規）

事業費 2400千円

（内訳）

一般財源 2400千円

▼事業内容

市街地への交通手段を持たない高齢者が増えていることから、これらの方への支援と個店経営の改善を目的に移動販売車を運行するための補助であります。

◎都市公園整備事業（継続）

事業費 3197千円

（内訳）

国支出金 15000千円

地方債 13500千円

一般財源 3497千円

▼事業内容

宮の森公園の老朽化した遊具を撤去し、複合型の遊具を整備するほか、旭日公園と稲荷公園の補修等を行い、都市公園利用者の安全・安心を図るものであります。

◎雄武浄化センター線道路整備事業（新規）

事業費 37000千円

（内訳）

地方債 37000千円

▼事業内容

町道元稲府線から浄化センターへ向かう避難路線を2ヶ年で整備するものであり、本年度は120m整備するものであります。完成後は国道へ通り抜けできる路線となります。

◎末広3号線道路改良（新規）

事業費 48000千円

（内訳）

地方債 48000千円

▼事業内容

中学校前から高等学校前に通じる路線の改良整備と合わせ、歩道新設することで通学生等の安全確保を図るものであります。

◎雄武簡易水道管路漏水調査事業（新規）

事業費 1300千円

（内訳）

簡易水道事業会計一般財源 1300千円



事業費 1300千円

（内訳）

簡易水道事業会計一般財源 1300千円

▼事業内容

簡易水道の配水管延長40kmの漏水調査を3ヶ年で実施するものであり、水道管破裂事故の未然防止を図るものであります。



ただければ管理棟内の会議室等を使用することができま

A 町長

現在は改修する予定はありませんが、要望が多ければ検討していききたいと思います。

Q 共栄自治会長

合併処理浄化槽設置に係る補助制度が4月号広報で周知されてきたが、現在までどれだけの申請があったのか。

A 住民生活課長

補助制度については、5人槽で130万円、7人槽で160万円、10人槽で200万円を上限として95%補助するものであります。現時点では3件の申し込みがあり、2件は着工しておりますが、1件は未着工であります。

Q 新日の出町自治会長

町内に設置されている街灯には町で維持管理する街灯と自治会で維持管理する街灯がありますが、町では設置されている街灯が町の街灯か自治会の街灯か把握しているのか。

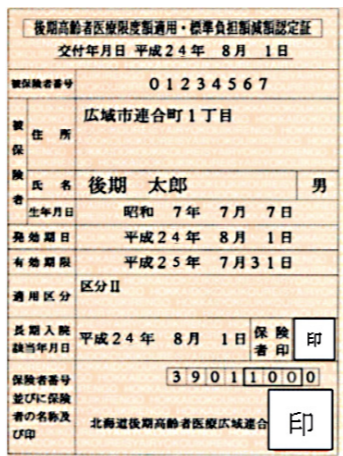
A 税財管理課長

町で管理している街灯には支柱に番号を記載しています。

後期高齢者医療制度のお知らせ 減額認定証の更新、 医療費通知の発行について

◆減額認定証（限度額適用・標準負担額減額認定証）が新しくなります

現在ご使用の減額認定証の有効期限が平成24年7月31日をもって満了となるため、8月以降は使用できなくなります。7月中旬に新しい減額認定証をお送りしますので、8月1日から新しい減額認定証をご使用ください。期限の切れた減額認定証は、お手数ですが破棄してください。



(色はオレンジです)

減額認定証の交付対象となるのは、次の区分Ⅰまたは区分Ⅱに該当する人です

区分Ⅱ	・世帯全員が住民税非課税である人
区分Ⅰ	・世帯全員が住民税非課税である人のうち、次のいずれかに該当する人 ・世帯全員の所得が0円の人（公的年金収入のみの場合、その受給額が80万円以下の人） ・老齢福祉年金を受給されている人

◆医療費通知の発行を希望される人へ

被保険者の皆さまに健康や医療に対する理解を深めていただくために、皆さまの医療費を半年ごとにまとめ、発行をご希望の人を対象に医療費通知を送付しています。今回の発行は、9月（平成24年1月～6月の医療費を対象）に行います。

◆新たに発行をご希望の人はご連絡ください

新たに発行をご希望の人は、お手数ですが、北海道後期高齢者医療広域連合または保健福祉課保険給付係へご連絡ください（電話でのご連絡だけで手続きできます）。

- すでに「発行希望」のご連絡をいただいている人につきましては、継続して発行しますので、再度のご連絡は必要ありません。
- この通知を受け取られたことにより、申請等の手続きをされる必要はありません。
- 受診年月、診療を受けた医療機関名、診療区分、日数、医療費の総額（10割の金額）を記載しています。
- ※ この通知を確定申告などの「医療費控除」の領収書の代わりとすることはできません。

問い合わせ先
 ◎北海道後期高齢者医療広域連合
 〒060-0062
 札幌市中央区南2条西14丁目国保会館6階
 ☎011-290-5601
 ◎保健福祉課保険給付係
 ☎84-2023



Q 共栄自治会長
町道の草刈り、樹木の伐採の対応について伺いたい。

A 建設水道課長
草刈りについては6月から7月にかけて1回、9月ごろに1回行います。樹木の伐採については徐々に実施していく予定です。

Q 中雄武自治会長
子どもたちや若い人たちがスポーツをすることができない屋内グラウンドの建設予定はあるか。スポーツ振興の一環として、屋内グラウンドの建設を要望します。

A 町長
現在、屋内グラウンドの建設予定はありません。要望として受けたいと思います。

【その他】

《総務課長》

本年度から地区別町政懇談会を開催します。町内を7地区程度に分けて開催し、時期については、11月を目途として開催を予定しております。時期が近くなりましたら、ご案内しますので、多くの方の参加をお願いいたします。

中には番号が消えている街灯もあるので、一斉に調査して番号を塗り替えて、町の街灯と自治会の街灯を区別できるように対応します。また、街灯の場所を記載した地図がありますので、要望があれば提供します。

Q 日の出町自治会長

◎昨年の札幌雄武会には連合自治会の声かけや同窓会での声かけにより、一般町民の参加がありました。役場職員の参加はありませんでした。ぜひ、積極的な参加をお願いします。

◎札幌雄武会や東京雄武会との交流事業には我々のバックアップとともに町の応援が必要であります。町長はどのように考えているか。

◎毎年、武雄市との児童交流も行われており、お互いにホームステイなどで交流をしています。武雄雄武会のような会を設立する考えはないか。

A 町長

◎私も昨年、東京雄武会に参加をさせていただき、皆さんと話をしているいろいろなアドバイスを受けました。これからは職員も積極的に参加をさせたいと思います。

◎東京雄武会に参加するにあたり

り紋別空港を利用してありますが、紋別空港は地域にとって大切な空港であることから、当町においても搭乗率向上のために空港利用者に対する補助を考えておりますので、今後の一般参加者の増が期待できます。補助制度については6月定例会議で提案する予定です。

◎武雄雄武会のような会を作る考えは今のところありません。民間の方でそのような動きがあれば協力していきたい。

Q 日の出町自治会長

今は原子力発電の再開も進まず、クリーンエネルギーの利用も難しいところであるが、過去には幌内川発電所の経験もあり、改めて考えてはどうか。町ではなく北海道で考えてもらうことも可能であり雇用の創出も図れると思うがどう考えるか。

A 町長

稼働までの投資もかなり、北海道の財政も悪化していることから非常に難しい問題と考えます。スケールの大きな事業でありますので、この場では回答できませんが、これからの情勢を見極めていきたいと思っております。